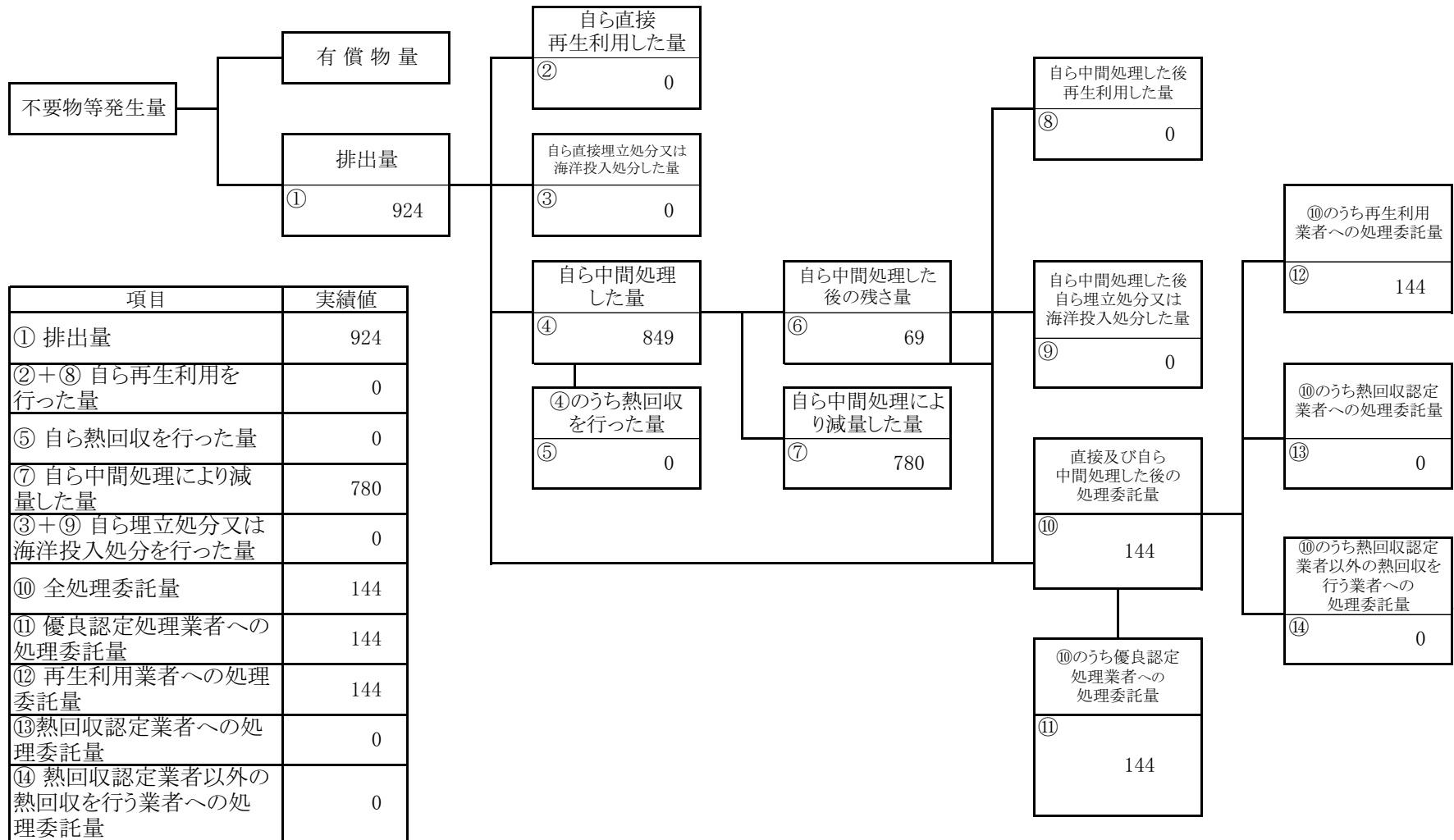


産業廃棄物処理計画実施状況報告書				
富山県知事 新田 八朗 殿		令和5 年 6 月 21 日		
提出者 住 所 東京都千代田区神田和泉町1 氏 名 YKK株式会社 代表取締役社長 大谷 裕明 電話番号 03-3864-2000				
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和4年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。				
事業場の名称		YKK株式会社 黒部事業所 黒部牧野工場		
事業場の所在地		富山県黒部市牧野938		
事業の種類		その他の製造業		
産業廃棄物処理計画における計画期間		2022年4月1日から2023年3月31日まで		
産業廃棄物処理計画における目標値				
項目		目標値	項目	目標値
排出量		1,512 t	全処理委託量	338 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		0 t	優良認定処理業者への処理委託量	319 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		0 t	再生利用業者への処理委託量	321 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		1,174 t	認定熱回収業者への処理委託量	17 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t
※事務処理欄				

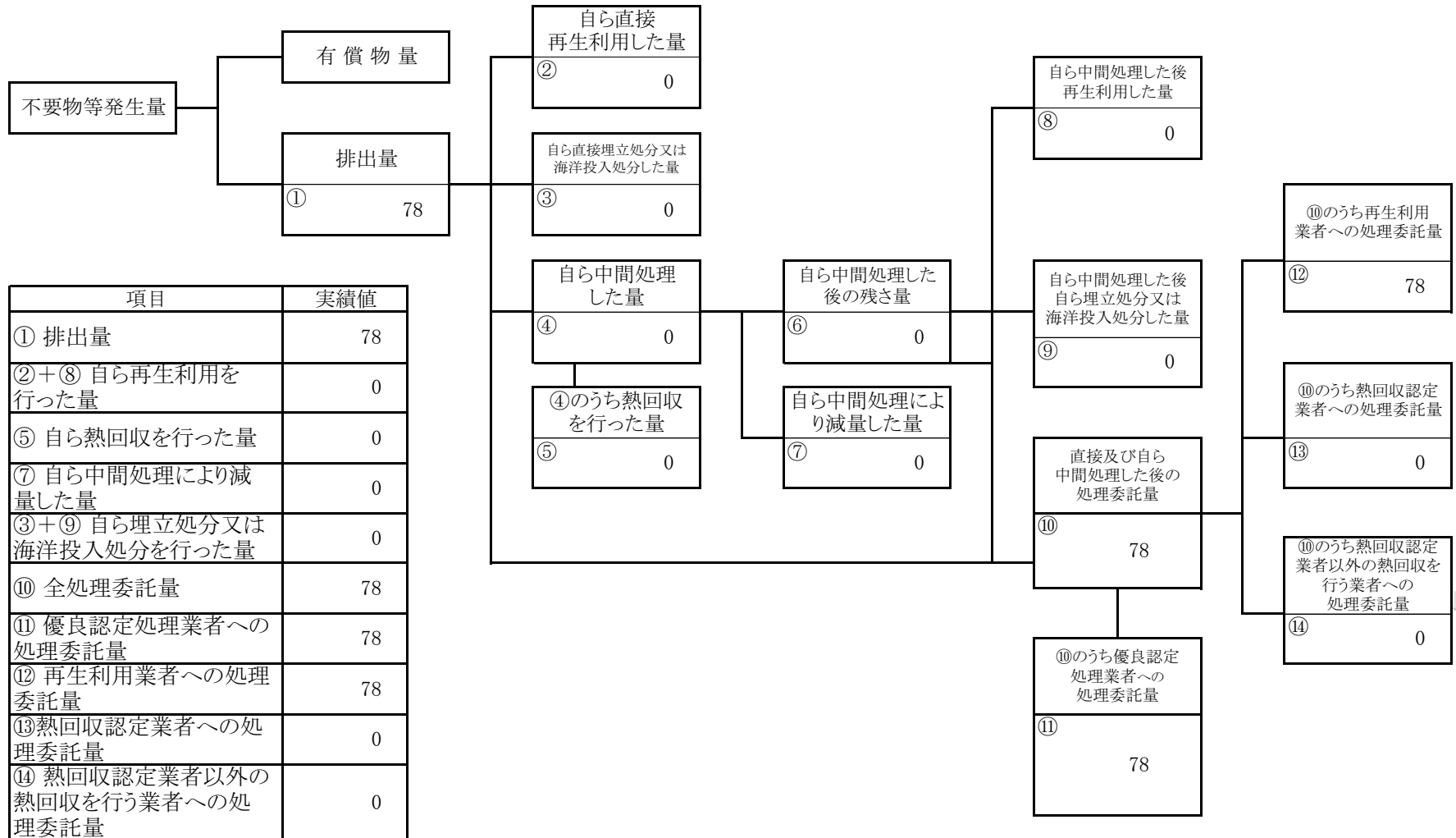
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 汚泥)



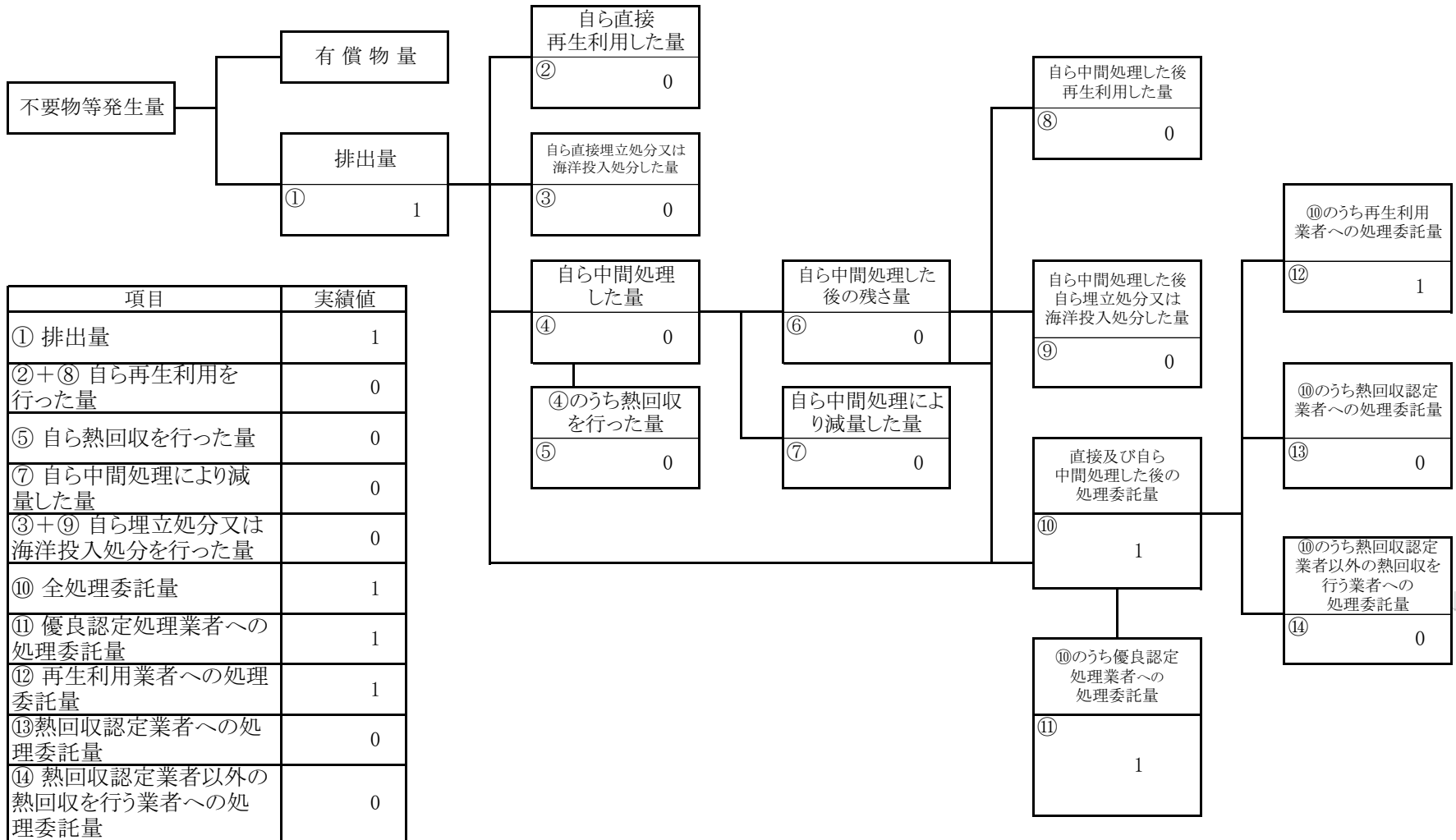
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 廃油)



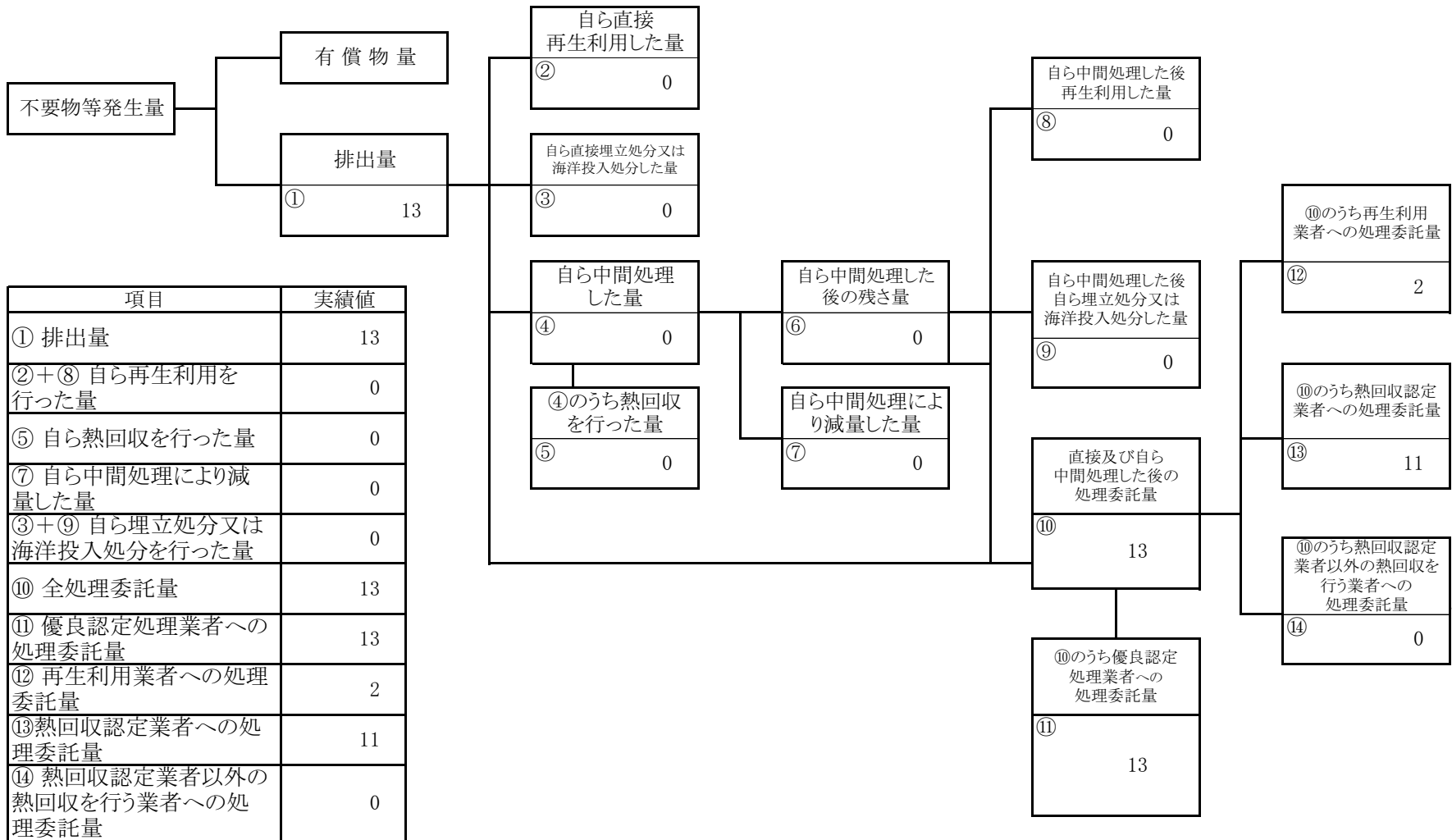
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 廃酸)



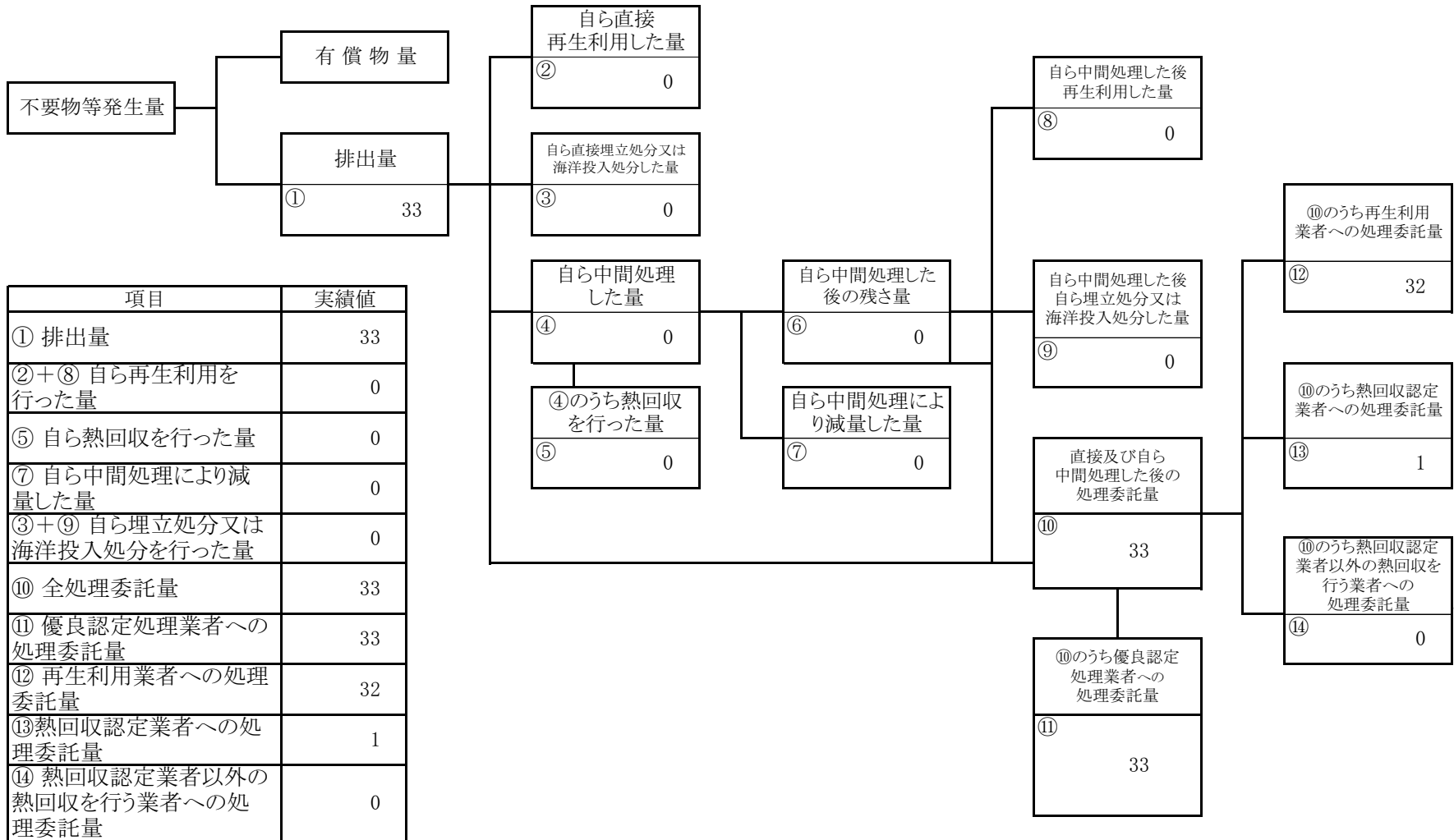
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 廃アルカリ)



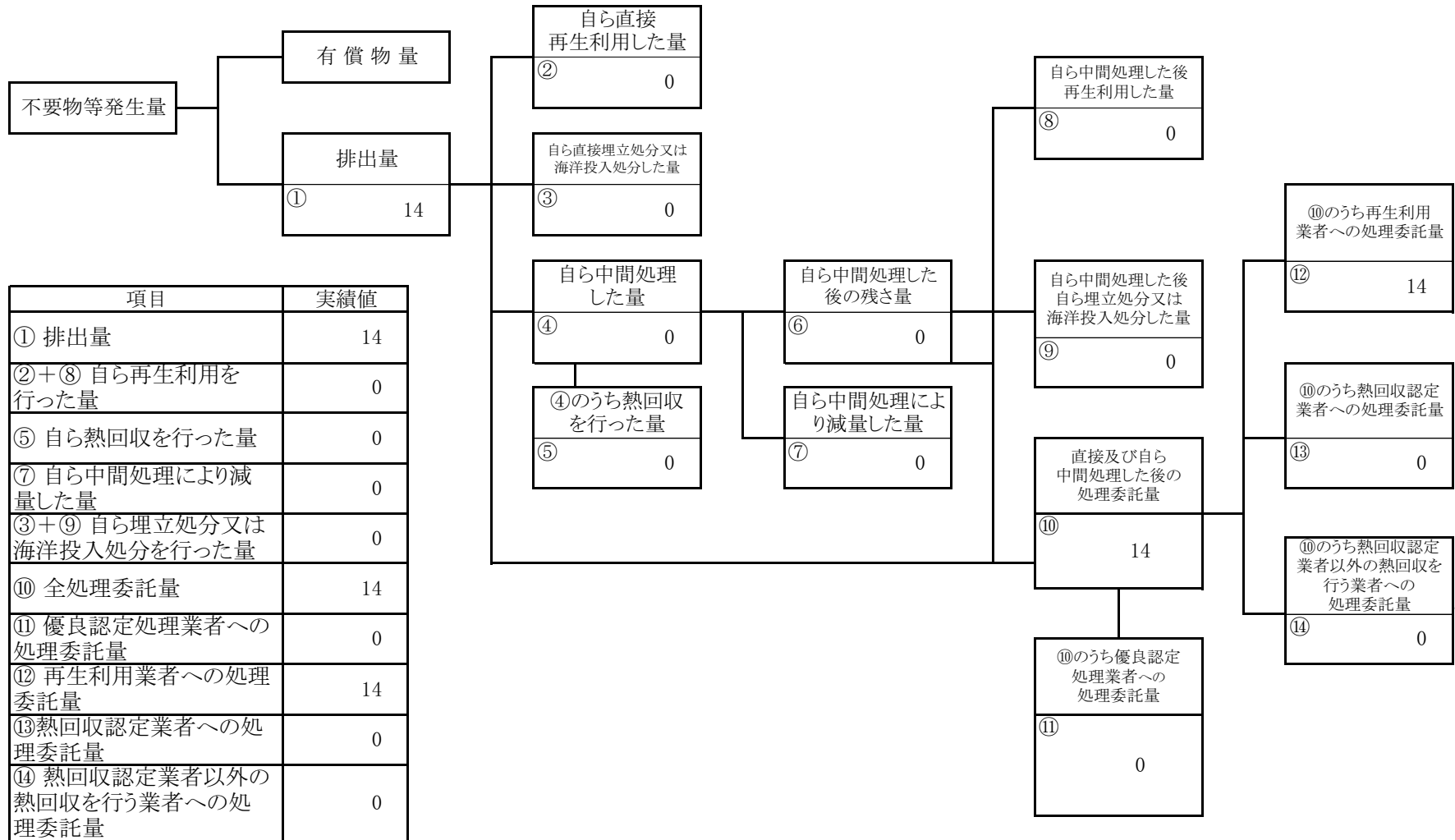
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 廃プラスチック類)



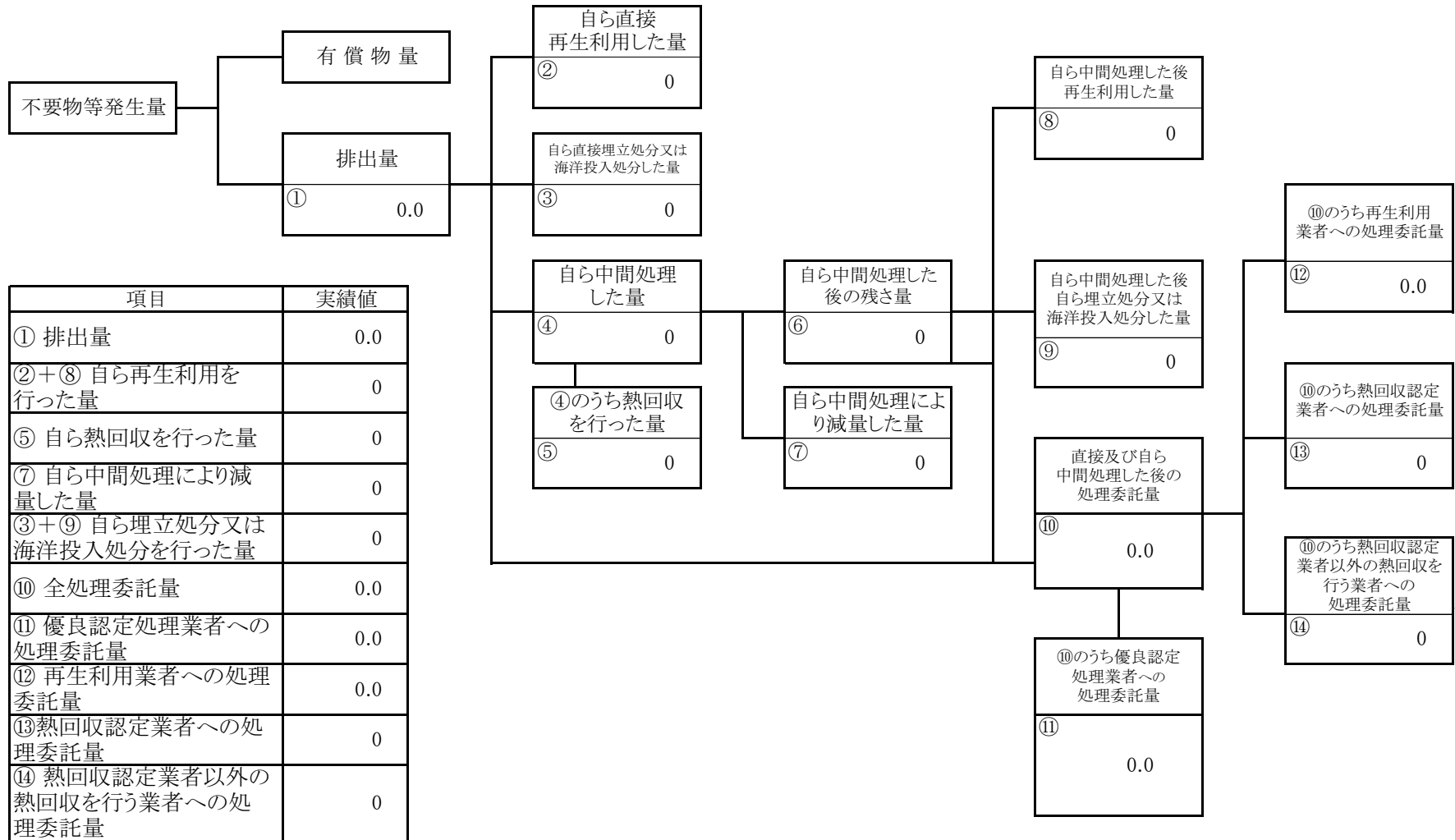
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 木くず)



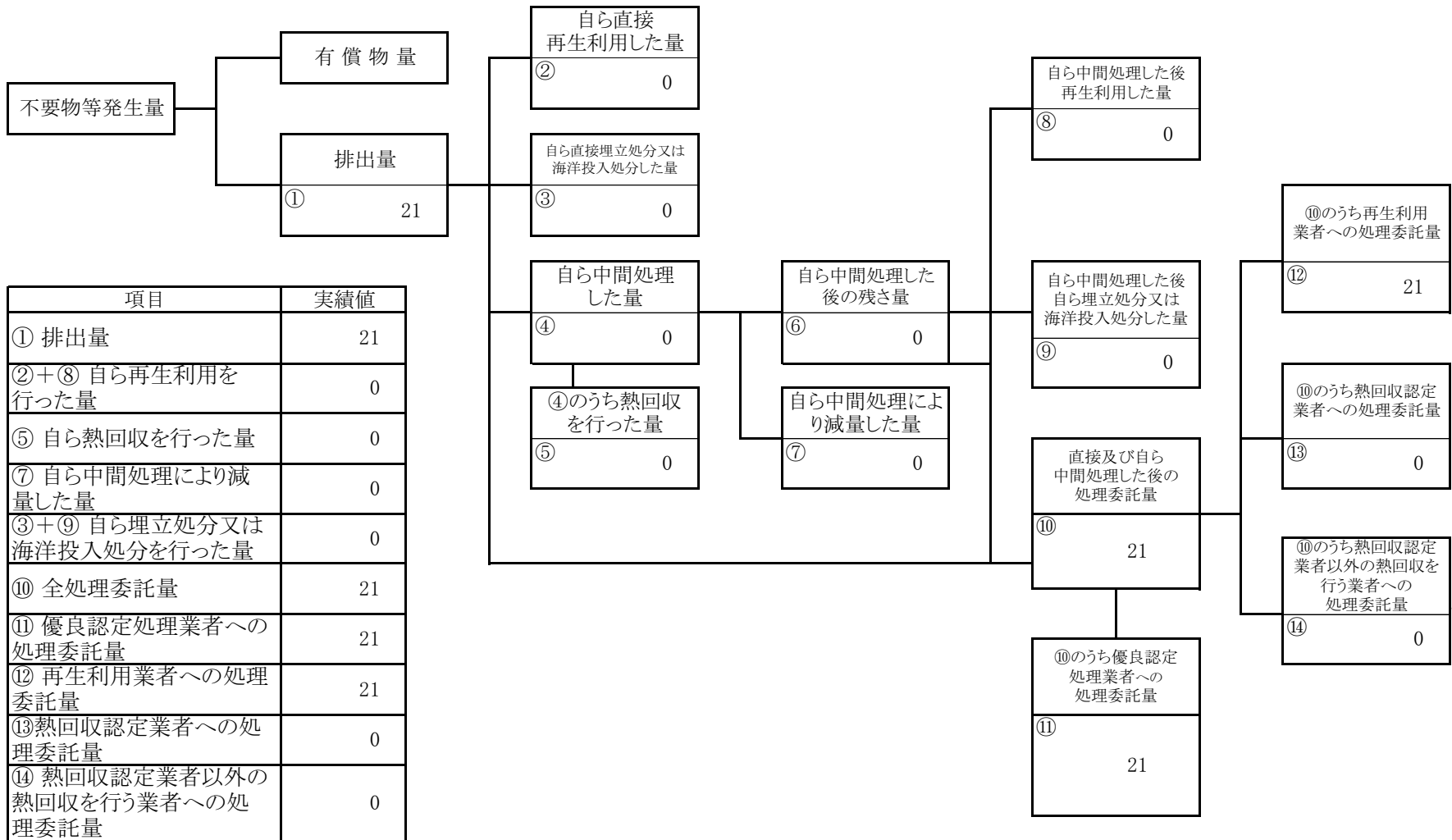
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 金属くず)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず)



(様式第2号の9)産業廃棄物処理計画実施状況報告書 第2面(一覧)

別添

以下の場合、理論値計算と一致しないため、セルが赤く表示されます。赤く表示された場合、記入した数値が正しいかご確認をお願いいたします。

- ・①が②～⑭より少ない場合⇒②～⑭の該当するセルが赤く表示
- ・④が(⑥+⑦)より少ない場合⇒④、⑥、⑦のセルが赤く表示
- ・④が⑤より少ない場合⇒⑤のセルが赤く表示
- ・⑧が(①-(②+③+⑦+⑨+⑩))、⑨が(①-(②+③+⑦+⑧+⑩))、⑩が(①-(②+③+⑦+⑧+⑨))より多い場合⇒⑧～⑩のセルが赤く表示
- ・⑩が⑪より少ない場合⇒⑪のセルが赤く表示
- ・⑩が(⑫+⑬+⑭)より少ない場合⇒⑫～⑭のセルが赤く表示

単位:トン/年

廃棄物の種類	排出量の目標値	計画の実施状況													
		①排出量	②自ラ直接再生利用した量	③自ラ直接埋立処分又は海洋投入処分した量	④自ラ中間処理した量	⑤自己中間処理のうち熱回収を行った量	⑥自ラ中間処理した後の残さ量	⑦自ラ中間処理により減量した量	⑧自ラ中間処理した後再生利用した量	⑨自ラ中間処理した後自ラ埋立処分又は海洋投入処分した量	⑩直接及び自ラ中間処理した後の処理委託量	⑪⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	⑫⑩のうち再生利用業者への委託量	⑬⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	⑭⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
燃 え 殻															
汚 泥	1,339	924			849		69	780			144	144	144		
廃 油	86	78									78	78	78		
廃 酸	2	1									1	1	1		
廃 アルカリ	20	13									13	13	2	11	
廃プラスチック類	28	33									33	33	32	1	
紙 く ず															
木 く ず	17	14									14		14		
織 維 く ず															
動植物性残さ															
動物系固形不要物															
ゴ ム く ず															
金 属 く ず	0.2														
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	20	21									21	21	21		
鋳 さ い															
が れ き 類															
動物のふん尿															
動物の死体															
ば い じ ん															
計	1,512	1,084	0	0	849	0	69	780	0	0	304	290	292	12	0

注1 産業廃棄物排出量の目標値 : 様式第2号の9の第1面にて実施状況報告のなされた「産業廃棄物排出量の目標値」について集計し記入する。なお値は計のみを入力する。

注2 計画の実施状況 : 様式第2号の9の第2面にて実施状況報告のなされた「計画の実施状況」①～⑭の量について集計し記入する。

注3 廃棄物の種類 : 19種類に分類できない記述が報告書にある場合に限り、空欄に報告書に表示された種類を記入する。

(第3面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。